

# 英 語

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	英語 701・801・901	A 4 502	令和2年
9	開隆堂出版	開隆堂◆	英語 702・802・902	A B 508	
15	三省堂	三省堂◆	英語 703・803・903	A B 550	
17	教育出版	教 出◆	英語 704・804・904	A B 532	
38	光村図書	光 村◆	英語 705・805・905	A B 570	
61	新興出版社 啓林館	啓林館◆	英語 706・806・906	A B 474	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

## 2 都立白鷗高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 豊かな教養を涵養する教育を展開するため、観察・実験・実習、調査・研究、発表・討論、社会体験、自然体験行事などの体験的な学習、問題解決的な学習を積極的に取り入れる。
- (2) 豊かな教養を涵養する教育を展開するため、基礎・基本を確実に定着させるとともに、発展的な学習を積極的に行う。
- (3) 国際色豊かな学習環境を整備するとともに、ダイバーシティ（多様性）を尊重する態度を育成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 基礎・基本を確実に定着させるために、補助教材等も利用し、繰り返して練習する活動を十分行う。
- (2) ダイバーシティ（多様性）を尊重する態度を育成するとともに、国際社会に対応できるように英語のコミュニケーション能力の伸長を図るため、英語による自己表現などの活動を中学校から積極的に行う。
- (3) 学習の成果を発表する場として「校内スピーチコンテスト」を実施したり、インターネットなどを活用し、海外の機関や学校との交流を積極的に行う。これらを通じて国際社会に生きるリーダーとしてふさわしいコミュニケーション能力を育てる。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統を扱っている教材数	台東地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 都立白鷗高等学校・附属中学校の教育内容の充実に係る検討委員会報告書第3章 平成31年度学校経営計画	個
b SDGsを扱っている教材数	同上	個
c 自然・科学、環境を扱っている教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 自国の文化・社会の理解を深め、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度や国際的視野を養うため、日本の文化・伝統を扱っている教材数を調査する。
- b 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- c 科学的・論理的に考え表現する力や、豊かな知性と感性を育むため、自然・科学、環境を扱っている教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立白鷗高等学校附属中学校 英語

項目 発行者	a 日本の文化・伝統を扱っている 教材数	b SDGsを扱っている教材数	c 自然・科学、環境を扱っている教 材数
東 書	9	13	6
開隆堂	7	11	7
三省堂	8	6	3
教出	9	8	7
光村	9	10	4
啓林館	12	8	7
平均値	9.0	9.3	5.7

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「日本の文化・伝統を扱っている教材数」については、日本の衣食住に関する習慣や風習、またはそれに起因する作品等に触れている教材数を数えている。

b 「SDGsを扱っている教材数」については、持続可能な開発のための目標の内容を題材にしている教材数を数えている。

c 「自然・科学、環境を扱っている教材数」については、科学技術テクノロジーや生物、環境保護等に触れている教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

## 2 都立小石川中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 世界的視野をもち、国際社会に貢献しようとする志と使命感をもつ生徒を育成するため、大学や国際機関の教育力を活用し、国際社会における在り方や生き方を主体的に考えさせる。
- (2) 自然科学をはじめ各教科で確かな学力を育む教養教育を展開するために、基礎学力を確実に定着させるとともに、生徒一人一人の習熟の程度に応じて、補充的な学習と発展的な学習を行う。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 習熟度別授業や少人数授業等を実施するとともに、外国人講師の複数配置を基本とし、実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。
- (2) 発達段階に応じて、新聞、雑誌、放送を活用し、政治、経済、文学、歴史等からテーマを決め、プレゼンテーションやディベートを発展的に学習する。
- (3) 英語を使わなければならない状況を設定し、使える英語を体得させる。  
これらを通じて国際社会に生きるリーダーとしてふさわしいコミュニケーション能力を育てる。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	文京地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	個
b 自然・科学、環境を扱っている教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- b 科学的・論理的に考え表現する力や、豊かな知性と感性を育むため、自然・科学、環境を扱っている教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立小石川中等教育学校(前期課程) 英語

項目 発行者	a インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	b 自然・科学、環境を扱っている教材数	c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数
東 書	1	6	4
開隆堂	2	7	3
三省堂	5	3	6
教出	1	7	4
光村	4	4	3
啓林館	2	7	1
平均値	2.5	5.7	3.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、メールでのやり取りなどインターネットを通じた交流活動の教材数を数えている。

b 「自然・科学、環境を扱っている教材数」については、科学技術テクノロジーや生物、環境保護等に触れている教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

## 2 都立両国高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 豊かな心と世界的視野をもつ生徒を育成するため、自然体験行事、芸術活動、部活動等により豊かな感性を育む。
- (2) 広く深い教養、知性を涵養<sup>かん</sup>する教育を展開するため、基礎・基本を徹底して定着させ、発展的な学習を積極的に展開して応用力を育成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 英語の書籍、ニュース、インターネットを活用した海外生徒との交流など多様な教材を使用し、英語を話す面白さや楽しさを実感させる。
- (2) 英字新聞・雑誌・英語放送など多様な教材を活用し、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート等の要素を取り入れ、リスニング・スピーキング能力の伸長を図る。これらを通じて国際社会に生きるリーダーとしてふさわしいコミュニケーション能力を育てる。
- (3) コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力などの育成のために、生徒が能動的に学ぶ「アクティブラーニング」の推進に努める。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	墨田地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 平成31年度学校経営計画	個
b 自然・科学、環境を扱っている教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- b 科学的・論理的に考え表現する力や、豊かな知性と感性を育むため、自然・科学、環境を扱っている教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立両国高等学校附属中学校 英語

項目 発行者	a インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	b 自然・科学、環境を扱っている教材数	c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数
東 書	1	6	4
開隆堂	2	7	3
三省堂	5	3	6
教出	1	7	4
光村	4	4	3
啓林館	2	7	1
平均値	2.5	5.7	3.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、メールでのやり取りなどインターネットを通じた交流活動の教材数を数えている。

b 「自然・科学、環境を扱っている教材数」については、科学技術テクノロジーや生物、環境保護等に触れている教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

## 2 都立桜修館中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 国際社会を担う生徒を育成するため、論理的な思考力・表現力を育成し、日本の伝統や文化を理解するとともに、他国の文化を理解し、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育む。
- (2) 高い知性を涵養する教育を展開するため、教科教育を充実させ、確かな学力を身に付けさせるとともに、個性の伸長や創造力の育成につながる発展的な学習を積極的に行う。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 音声と語法の両面において英語の基礎・基本の確実な定着を図るとともに、習熟度別学習や選択教科を効果的に活用する。
- (2) 「プレゼンテーション」授業を取り入れ、学習の成果や自分の考え、意見を発表する機会を設定する。
- (3) 積極的に英語でコミュニケーションを行おうとする態度の育成を図る。そのために、できるだけ英語を用いて授業を進める。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統を扱っている教材数	目黒地区中等教育学校教育課程 第1章 平成31年度学校経営計画	個
b SDGsを扱っている教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 自国の文化・社会の理解を深め、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度や国際的視野を養うため、日本の文化・伝統を扱っている教材数を調査する。
- b 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことについて扱っている教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立桜修館中等教育学校(前期課程) 英語

項目 発行者	a 日本の文化・伝統を扱っている 教材数	b SDGsを扱っている教材数	c ディスカッションやディベートにつ いて記述してある教材数
東 書	9	13	4
開隆堂	7	11	3
三省堂	8	6	6
教出	9	8	4
光村	9	10	3
啓林館	12	8	1
平均値	9.0	9.3	3.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「日本の文化・伝統を扱っている教材数」については、日本の衣食住に関する習慣や風習、またはそれに起因する作品等に触れている教材数を数えている。

b 「SDGsを扱っている教材数」については、持続可能な開発のための目標の内容を題材にしている教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

## 2 都立立川国際中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 将来、国際社会で活躍できる素養のある生徒を育成するため、外国語教育を充実させ、英語を中心としたコミュニケーション能力を身に付けさせるとともに、日本の伝統や文化を理解し、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度を養う。
- (2) 確かな基礎学力の上に幅広い教養教育を展開するため、論理的な思考の根幹となる日本語の基礎・基本を定着させるとともに、思考力、表現力を引き出す内容を積極的に取り入れた学習を行う。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 6年間を通じて「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」をバランスよく展開して、外国語の背景にある文化・社会・人間を含めた知識、多様な文化・社会をよく生きる人間としての姿勢、語学を活用する際に必要な技能を育む。
- (2) 少人数クラス、外国人講師による授業を設け、生徒自身が積極的に授業に関わる環境を整え、習熟の程度に応じたきめ細かい指導を展開する。
- (3) 外国の出版物を含め、国際理解に関連するものを積極的に使用していく。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a SDGsを扱っている教材数	立川地区中高一貫6年制学校 （国際中等教育学校）基本計画 検討委員会報告書 平成31年度学校経営計画	個
b インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- b 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立立川国際中等教育学校(前期課程) 英語

項目 発行者	a SDGsを扱っている教材数	b インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数
東書	13	1	4
開隆堂	11	2	3
三省堂	6	5	6
教出	8	1	4
光村	10	4	3
啓林館	8	2	1
平均値	9.3	2.5	3.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「SDGsを扱っている教材数」については、持続可能な開発のための目標の内容を題材にしている教材数を数えている。

b 「インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、メールでのやり取りなどインターネットを通じた交流活動の教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

## 2 都立武蔵高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 国際社会で活躍するリーダーを目指す生徒を育成するため、科学的・論理的に考える力や表現する力を育成し、自国の文化、社会の理解を深めるとともに、他国との相互理解に必要な資質を培う。
- (2) 豊かな知性と感性を育む教養教育を展開するため、系統的・発展的な指導を行い、教科学習を充実させるとともに、地域の教育資源を活用した体験的・発展的な学習を行う。また、大学や研究所、企業等と連携し、科学的な見方や考え方を育成する学習を行う。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 外国人英語等教育補助員（ALT）を複数配置することや、コンピュータ利用の学習システム（CAI）などの活用を図り、英語への興味付けをしつつ、学習の基礎・基本を定着させる。
- (2) 英語の書籍、ニュース、インターネットを活用し、海外での語学研修など多様な学習の機会を設定し、基礎的・定型的な日常会話の習得を目指すとともに、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成する。
- (3) 暗唱した英語などを発表するレシテーションコンテストやスピーチコンテストなどを開催することにより、音声面の大切さを認識させ、同時にプレゼンテーション能力の伸長を図る。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a SDGsを扱っている教材数	武蔵野地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書 平成31年度学校経営計画	個
b インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- b 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立武蔵高等学校附属中学校 英語

項目 発行者	a SDGsを扱っている教材数	b インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数
東 書	13	1	4
開隆堂	11	2	3
三省堂	6	5	6
教出	8	1	4
光村	10	4	3
啓林館	8	2	1
平均値	9.3	2.5	3.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「SDGsを扱っている教材数」については、持続可能な開発のための目標の内容を題材にしている教材数を数えている。

b 「インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、メールでのやり取りなどインターネットを通じた交流活動の教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

## 2 都立富士高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 高い知性と深い教養を育む教養教育を展開するため、大学、企業、文化施設及び地域での学習や自然に触れる体験的な学習を積極的に取り入れる。  
教育活動を通じて「探究心」を育て、特色ある教育の一層の充実を図る。
- (2) 社会のリーダーとしての能力や資質をもつ生徒を育成するため、様々な文化・芸術・自然等に触れる体験的な学習を通して瑞々しい感性を高め、奉仕活動を通して社会に貢献する志を培う。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 将来国際社会で幅広く活躍する知性と品性を兼ね備えた人物の育成を目指し、教育活動を展開する。
- (2) 基礎的な文法や語彙を確実に定着させることを目標とする。
- (3) 実践的なコミュニケーション活動を行うために日常的にスピーチなど発表の機会を積極的に設け、話したり聞いたりすることを身近なものにさせる。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	中野地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 平成31年度学校経営計画	個
b 自然・科学、環境を扱っている教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- b 科学的・論理的に考え表現する力や、豊かな知性と感性を育むため、自然・科学、環境を扱っている教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立富士高等学校附属中学校 英語

項目 発行者	a インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	b 自然・科学、環境を扱っている教材数	c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数
東 書	1	6	4
開隆堂	2	7	3
三省堂	5	3	6
教出	1	7	4
光村	4	4	3
啓林館	2	7	1
平均値	2.5	5.7	3.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、メールでのやり取りなどインターネットを通じた交流活動の教材数を数えている。

b 「自然・科学、環境を扱っている教材数」については、科学技術テクノロジーや生物、環境保護等に触れている教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

## 2 都立大泉高等学校附属中学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 確かな学力の上に幅広い教養教育を展開するため、論理的思考力を育成し、情報化社会のリーダーとしての資質を養うため、教育の情報化を積極的に遂行する。
- (2) 豊かな人間性とリーダーとしての資質をもつ生徒の育成とともに、国際的視野をもつ生徒を育成するため、我が国の文化、他国の文化に触れる機会を多く取り入れ、国際的視野を育成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 外国語である英語を学ぶことを通して、異文化に対する理解を深める。
- (2) 我が国の歴史・文化・社会を理解し尊重する態度を育てる。
- (3) 英語という国際的言語を使って情報を直接入手したり、情報を発信できる能力と国際的な視野を備えたコミュニケーション能力を養う。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統を扱っている教材数	練馬地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 平成31年度学校経営計画	個
b インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 自国の文化・社会の理解を深め、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度や国際的視野を養うため、日本の文化・伝統を扱っている教材数を調査する。
- b 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立大泉高等学校附属中学校 英語

項目 発行者	a 日本の文化・伝統を扱っている 教材数	b インターネットを利用した海外の 機関や学校との交流活動について 記述してある教材数	c ディスカッションやディベートにつ いて記述してある教材数
東 書	9	1	4
開隆堂	7	2	3
三省堂	8	5	6
教出	9	1	4
光村	9	4	3
啓林館	12	2	1
平均値	9.0	2.5	3.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「日本の文化・伝統を扱っている教材数」については、日本の衣食住に関する習慣や風習、またはそれに起因する作品等に触れている教材数を数えている。

b 「インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、メールでのやり取りなどインターネットを通じた交流活動の教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

## 2 都立南多摩中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 精神の豊かさと確かな学力を追求し、国際感覚を育てる。そのため、地域への理解を深めるとともに、世界へ広がる視点のもとに国際感覚を涵養し、異文化理解のための指導を行う。
- (2) 質の高い教育活動を行うため、専門的な学問領域に触れさせ、知的好奇心を鼓舞し、科学的探究心溢れる教科指導を行い、大学や企業との連携・接続により最先端の学問・芸術、社会や経済の動向に触れさせる。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 習熟度に応じた少人数授業を実施し、きめ細かい指導を行うとともに基礎・基本の定着を図る。「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能を、6年間を見通して体系的に学習し、バランスのとれた英語力を育成する。
- (2) 外国語英語等補助員（ALT）を活用して、音声指導を重視したリスニング能力、コミュニケーション能力を養う。
- (3) 4学年以降は、ALTを活用して、スピーチ、ディベート、ディスカッションの指導も行う。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a SDGsを扱っている教材数	八王子地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書 平成31年度学校経営計画	個
b 自然・科学、環境を扱っている教材数	同上	個
c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- b 科学的・論理的に考え表現する力や、豊かな知性と感性を育むため、自然・科学、環境を扱っている教材数を調査する。
- c 思考力・表現力を高め、実践的コミュニケーション能力を育成するため、ディスカッションやディベートについて記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】都立南多摩中等教育学校(前期課程) 英語

項目 発行者	a SDGsを扱っている教材数	b 自然・科学、環境を扱っている教材数	c ディスカッションやディベートについて記述してある教材数
東書	13	6	4
開隆堂	11	7	3
三省堂	6	3	6
教出	8	7	4
光村	10	4	3
啓林館	8	7	1
平均値	9.3	5.7	3.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「SDGsを扱っている教材数」については、持続可能な開発のための目標の内容を題材にしている教材数を数えている。

b 「自然・科学、環境を扱っている教材数」については、科学技術テクノロジーや生物、環境保護等に触れている教材数を数えている。

c 「ディスカッションやディベートについて記述してある教材数」については、あるテーマについて、理由を明確にして、論理的に発言し合う活動の教材数を数えている。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

## 2 都立三鷹中等教育学校（前期課程）の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

- (1) 高い見識と幅広い視野を育成する教育を展開するため、論理的な思考の根幹を担う日本語の基礎・基本を重視し定着・伸長させ、観察、実験、実習、見学等の体験的な学習を積極的に取り入れる。
- (2) 高い倫理観、豊かな人間性をもった生徒を育成するため、ボランティア体験、奉仕体験活動を有機的に編成する。

### 【英語における学習指導の展開】

- (1) 6年間を通じて「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を生徒の精神の発達段階に応じてバランスよく配置する。英語の実践的コミュニケーション能力の育成のみならず、外国語の背景にある言語や文化・社会を理解し、自己形成の一助としての外国語の学習を目指す。
- (2) 暗唱した英語などを発表するレシテーションコンテスト等を適時開催し、バランスのとれた英語能力の伸長の一助とする。
- (3) 英語への興味付け、基礎の語彙・定型表現の定着を図る。また、生涯学習の観点からも、予習・復習のほかにリスニング、リーディング等の家庭学習の充実を促す。また、外国人英語等教育補助員（ALT）を配置したり、コンピュータ利用の学習システム（CAI）の活用を通して、実践的な英語に触れる機会を多く提供する。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統を扱っている教材数	三鷹地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 平成31年度学校経営計画	個
b SDGs を扱っている教材数	同上	個
c インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 自国の文化・社会の理解を深め、異なる文化をもった人々とともに生きていく態度や国際的視野を養うため、日本の文化・伝統を扱っている教材数を調査する。
- b 外国の伝統文化や世界の様々な地域の様子について知識をもち、広い視野から国際理解を深められる教材数を調査する。
- c 国際的言語である英語を使って、情報を直接入手し発信できる能力とコミュニケーション能力を養うため、インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 都立三鷹中等教育学校(前期課程) 英語

項目 発行者	a 日本の文化・伝統を扱っている 教材数	b SDGsを扱っている教材数	c インターネットを利用した海外の 機関や学校との交流活動について 記述してある教材数
東 書	9	13	1
開隆堂	7	11	2
三省堂	8	6	5
教出	9	8	1
光村	9	10	4
啓林館	12	8	2
平均値	9.0	9.3	2.5

表中の「平均値」は小数第2位を四捨五入している。

a 「日本の文化・伝統を扱っている教材数」については、日本の衣食住に関する習慣や風習、またはそれに起因する作品等に触れている教材数を数えている。

b 「SDGsを扱っている教材数」については、持続可能な開発のための目標の内容を題材にしている教材数を数えている。

c 「インターネットを利用した海外の機関や学校との交流活動について記述してある教材数」については、メールでのやり取りなどインターネットを通じた交流活動の教材数を数えている。

